

令和2年度第1回小牧市地域公共交通会議会議録

1 開催日時 令和2年8月25日(火) 午前10時00分から

2 開催場所 小牧市役所601会議室

3 出席者

(1) 小牧市地域公共交通会議委員

名古屋鉄道(株) 西部支配人

城田 貴 央
(菱田純二 代理)

名鉄バス(株) 運行課長

吉 岡 実

あおい交通(株) 代表取締役

松 浦 秀 則

尾張小牧タクシー(株) 取締役

江 川 修

公益社団法人愛知県バス協会 専務理事

小 林 裕 之

愛知県タクシー協会 副会長

小 川 健 司

愛知県交通運輸産業労働組合協議会 幹事

熊 谷 浩 明

公共交通利用促進協議会 会長

副 島 孝

小牧市区長会 連合会長

細 敏 雄

小牧市区長会 連合副会長

小 柳 松 夫

小牧市老人クラブ連合会 副会長

橋 場 勉

小牧市女性の会 会計

林 順 子

中部大学工学部都市建設工学科 教授

磯 部 友 彦

中部運輸局愛知運輸支局 首席運輸企画専門官

鈴 木 隆 史

愛知県都市整備局 交通対策課 担当課長

澤 木 徹

(小嶋直也 代理)

愛知県小牧警察署 交通課長

山 本 雅 彦

豊山町 産業建設部 産業・都市政策課長

中 川 徹

小牧市 福祉部長

伊 藤 俊 幸

小牧市 建設部長

前 田 勝 利

小牧市 都市政策部長

鵜 飼 達 市

(2) 事務局

小牧市 都市政策部 次長

水 野 隆

小牧市 都市政策部 都市整備課長

川 島 充 裕

小牧市 都市政策部 都市整備課交通政策係長

清 水 靖 史

小牧市 都市政策部 都市整備課交通政策係主事

亀 谷 俊 太

(3) 参考人

春日井市 まちづくり推進部 都市政策課課長補佐

松 浦 武 幸

(4) 傍聴者

5名

4 欠席者

愛知県 尾張建設事務所 維持管理課長
犬山市 市民部 防災交通課長

増 岡 浩 仁
百 武 俊 一

5 議題

- (1) 会長、副会長の選出について
- (2) 令和2年12月こまき巡回バス再編におけるルート・ダイヤについて

6 報告

- (1) こまき巡回バス利用状況について
- (2) こまき巡回バス愛称募集について
- (3) こまき巡回バス料金の一部無料化について
- (4) 名鉄バス桃山線について
- (5) 春日井市実証実験について

7 会議資料

- | | |
|---------|---|
| 再編資料1 | こまき巡回バスの再編について《再編の概要》 |
| 再編資料2-1 | 路線図 |
| 再編資料2-2 | 路線概要 |
| 再編資料2-3 | 路線別路線図 |
| 再編資料3-1 | 運行時間について |
| 再編資料3-2 | 各路線ダイヤ（平日） |
| 再編資料3-3 | 各路線ダイヤ（土日祝） |
| 再編資料4 | 車両について |
| 再編資料5-1 | 新設等停留所リスト |
| 再編資料5-2 | 新設等停留所写真 |
| 再編資料5-3 | 小牧市民病院停留所について |
| 再編資料6 | 路線変更、バス停位置に係る事前調整状況 |
| 再編資料7 | 小牧市地域公共交通網形成計画との関係性について |
| 再編参考資料1 | 令和2年度こまき巡回バス再編に係る基本方針・ルート（案）について（※令和元年度第1回資料） |
| 再編参考資料2 | 地区別新旧比較 |
| 再編参考資料3 | 間内岩倉線との関係性について |
| 報告資料1 | こまき巡回バスコース別利用状況 |
| 報告資料2 | こまき巡回バス愛称募集について |
| 報告資料3 | こまき巡回バス料金の一部無料化について |
| 報告資料4 | 名鉄バス桃山線について |
| 報告資料5 | 春日井市実証実験について |

参考資料 小牧市地域公共交通会議委員名簿
参考資料 小牧市地域公共交通会議設置要綱

8 議事内容

【事務局】（川島課長）

それでは定刻となりましたので、ただいまより、令和2年度第1回小牧市地域公共交通会議を開催させていただきます。

本日は、お忙しい中、本会議にご出席を賜り誠にありがとうございます。

私は、本会議の進行役を務めさせていただきます都市整備課長の川島です。

今回、小牧市地域公共交通会議設置要綱第4条の規定に基づき、任期満了等に伴い、22名の方に、委員として就任していただきました。再任の方、新たに就任していただいた方がお見えになりますが、時間も限られておりますので、お手元の参考資料、委員名簿をもちまして、ご紹介に代えさせていただきます。また併せて、各委員の皆様方には委嘱状を机上に配布しておりますので、ご確認のほど、よろしくお願い致します。

また、本日は、名古屋鉄道株式会社西部支配人の城田委員に代わり、同営業総務課長の菱田様に、愛知県都市整備局交通対策課担当課長の澤木委員に代わり同交通対策課主査の小嶋様にご出席いただいております他、報告事項の説明員としまして、春日井市都市政策課課長補佐の松浦様にご出席いただいておりますので、ご紹介させていただきます。なお、愛知県尾張建設事務所 維持管理課長の増岡様、犬山市防災交通課長の百武様におかれましては、ご欠席との連絡をいただいております。

また、事務局につきましても、お手元の資料、配席表にて紹介に代えさせていただきますのでよろしくお願い致します。

それでは事務局を代表いたしまして、都市政策部次長の水野よりご挨拶を申し上げます。

【事務局】（水野次長）

皆様、改めまして、おはようございます。都市政策部次長の水野でございます。

本日は、大変ご多忙の中ご出席いただき、誠にありがとうございます。

委員の皆様におかれましては、日頃より、本市の交通政策に、ご指導、ご助言を賜っておりますことに関し、心より感謝を申し上げます。

本日は、およそ2か年にわたり準備してまいりましたが、主に本年12月に予定しておりますこまき巡回バスの再編についてご協議いただきます。また報告といたしまして、こまき巡回バスの利用状況、愛称募集、料金の一部無料化の施策についてご説明させていただくほか、名鉄バス株式会社様より名鉄バス桃山線について、春日井市様より実証実験について、それぞれご説明があるとのことでございます。

委員の皆様におかれましては、活発なご議論をお願いいたしまして、簡単ではございますが、あいさつとさせていただきます。

【事務局】（川島課長）

本日の出席委員は、委員総数22名に対し20名であり、過半数に達しておりますので、小牧市地域公共交通会議設置要綱第6条第2項の規定により本会議は成立しておりますことをご報告いた

します。

また、小牧市地域公共交通会議設置要綱第6条第5項の規定により、本会議は原則として公開することとされており、本日は、5名の方から会議傍聴の申し出がございましたので、ご報告申し上げます。

それでは、次第の2 議題に入らせていただきます。

(1)「会長、副会長の選出について」であります。

小牧市地域公共交通会議の会長、副会長については、新たな任期でありますので、改めて選出をお願いしたいと考えております。

本会議の会長につきましては、小牧市地域公共交通会議設置要綱第5条第2項の規定に基づき、委員の互選によってこれを定めることとされており、また副会長につきましては、委員のうちから会長が指名するものとされており、

従いまして、まずは会長につきまして、委員の互選をいただきたいと思っております。

どなたか立候補、またはご推薦をお願いいたします。

【小柳委員】

昨年度まで地域公共交通会議において会長を務められておりました、磯部委員に引き続きお願いしたいと思いますので、磯部委員を推薦します。

【事務局】(川島課長)

ただいま、小柳委員より、磯部委員を会長に推薦したいとのご発言がありましたが、他にはございませんか。無ければ、磯部委員を会長に選任することについて、ご異議ございませんでしょうか。

《異議なしの声》

ありがとうございます。ご異議なしとのことですので、本会議の会長には、磯部委員にご就任いただきたいと思います。

それでは、磯部会長よりご挨拶をいただきます。

磯部会長、よろしくお願いたします。

【磯部会長】

会長を務めさせていただきます磯部でございます。お願いたします。

今の交通の状況は、昨年の中頃考えると全く想像もつかないような状況となっております。

地域公共交通という視点で見ますと、市民にとって必要であるという観点からこれまで議論してまいりました。と言いながら、不要不急の外出は自粛しましょうと昨今よく言われますが、不要不急の外出とはなんだろうと常に悩んでおります。

それはやはり皆さんが考えるものであり、他人がとやかく言うものではないと思っておりますので、市民の必要な交通というのをしっかりと受け止めて、それに対して、どのように市民生活が成り立つように交通の面から答えていく役割かなと思っておりますので、今の状況で進展があればと思いますので、皆さんのご協力をお願いしたいと思います。

【事務局】（川島課長）

ありがとうございました。

それでは、今後の議事進行につきましては、磯部会長にお願いしたいと思います。磯部会長、よろしくお願ひいたします。

【磯部会長】

それでは、会議を進行してまいります。

まず、副会長の選任であります。小牧市地域公共交通会議設置要綱第5条第2項の規定に基づき、副会長を会長より指名いたします。副会長には、昨年度まで当会議の副会長を務められておりました、小柳委員にお願いしたいと思います。ご異議ありませんか。

《異議なしの声》

ありがとうございます。ご異議なしとのことですので、副会長には、小柳委員にお願いいたします。

続きまして、議題(2)「令和2年12月こまき巡回バス再編におけるルート・ダイヤについて」であります。

この件について、事務局より説明を求めます。

【事務局】（清水係長）

それでは、議題(2)「令和2年12月こまき巡回バス再編におけるルート・ダイヤについて」をご説明申し上げます。

恐れ入りますが、お手元の再編資料1「こまき巡回バスの再編について・再編の概要」をお願いいたします。

今回の再編にあたっては、平成30年度より検討を重ね、本会議におきましても、逐次報告させていただいておりますが、経緯なども含め改めてご説明させていただいたうえでご協議いただければと思います。

では、こちらの資料に沿ってご説明させていただきます。

まず初めに、運行目的につきましては、交通空白地域の解消、公共施設の利用促進を主な目的とし運行するものであり、これまでと変更はございません。

次に、再編目的であります。

こまき巡回バスにつきましては、これまで、平成27年4月には市内の南部・中部・西部・北里地区において、平成28年4月に北部・東部地区において、大規模な再編を実施しました。

年々、利用者数は増加傾向にあるものの、様々な課題が浮き彫りとなっており、そうした課題に対応するとともに、市民、利用者のご意見を踏まえ、今後も地域住民の足として長くご利用いただくため再編を実施するものであります。

なお、再編内容の検討にあたっては、市民アンケート、利用者アンケート、地区ごとの地域懇談会の開催、運行事業者であるあおい交通様にもご意見を伺ったほか、利用実態調査、日々の利用状況なども踏まえ実施いたしました。

次に、対象地区及び路線であります。

対象地区は市内全地区、路線は現行の 19 路線を、23 路線に再編するものです。再編資料 2-1 をご覧ください。1 枚目は再編後の路線図であります。全 23 路線を 17 台で運行いたします。

右下の路線名の表をご覧ください。

幹線系路線につきましては、路線番号 1 から 7 を小牧駅系統、11 から 13 を味岡駅系統として設定しております。

また、支線系路線につきましては、ホスピタルの頭文字の H がつく路線番号 H 1 から H 6 を市民病院系統、味岡の A がつく A 1 から A 3 を味岡駅系統、桃花台の T がつく T 1 から T 4 を桃花台系統としてそれぞれ設定しております。

そのうち、路線番号 1 小牧駅市役所線につきましては、2 台で運行します。また、路線名の右側に丸を線でつないだマークがございますが、これらにつきましては、1 台の車両で複数路線を運行する路線を示したものであります。

以前までの会議でも案についてはご提示させていただいておりますが、簡単に主なポイントのみ再度ご説明させていただきます。

本日卓上にお配りしました現行の路線図と併せてご覧ください。

1 点目としまして、路線は基本的に起点を中心とした放射状の往復ルートとしており、幹線系路線につきましては鉄道駅である小牧駅、味岡駅を起点として、主に人口集中地区を通るよう設定しております。

また、支線系路線につきましては、市民病院、味岡駅、桃花台センターを起点とし、交通空白地域をカバーするよう設定しております。

2 点目としまして、先ほど申し上げました、オレンジ色の路線番号 1 小牧駅市役所線につきましては、2 台で小牧駅、市民病院、市役所の間をピストン運行し、同一区間を運行する水色の路線番号 12 文津線と併せ、当該区間を日中は 15 分間隔で運行いたします。

3 点目として、現行東部地区を運行する 18、19 の路線は一周約 2 時間の長大路線となっており、これを今回の再編では、路線番号 7 桃花台線、1 2 文津線、1 3 野口大山線の主に 3 路線に分割いたしました。分割により、市民病院などへ行くには乗り継ぎが発生する場合がありますが、路線番号 1 小牧駅市役所線の設定や、桃花台センター、味岡駅、市民病院を結ぶ路線番号 1 1 味岡桃花台線の設定により、乗継利便性の向上を図っております。

最後に、4 点目としまして、車両については後ほど改めて説明させていただきますが、ワンボックス車両を廃止することに伴い、幅員狭小でありました区間については、今回ルートから外しております。

2 枚目をご覧ください。こちらは、路線の新設区間、廃止区間をお示しした図面であります。青色が今回新たに運行する区間、赤色は廃止する区間であります。なお、新たに通る区間につきましては、公安委員会、道路管理者と協議済みであります。

続いて、資料 2-2 をご覧ください。こちらは、各路線の路線概要であります。

路線ごとに、主な経由地や行先、運行本数、所要時間、運行時間帯をまとめており、紙面左側が幹線系路線、右側が支線系路線であります。

続いて、資料 2-3 をご覧ください。こちらは、路線別の路線図であります。

前回会議から変更となった主な路線につきましてご説明させていただきます。

まず、路線番号 1 小牧駅市役所線であります。小牧市役所の最寄りバス停としまして、本庁舎北

側のロータリーに新たに乗り入れることとしたため、新たに小牧市役所バス停を追加します。これに伴い、混同を避けるため、これまでのメガドンキ小牧店の北側のバス停の名称を「小牧市役所前」から「小牧山前」に変更しております。

一枚はねていただき、2ページの路線番号2河内屋線をご覧ください。

大口町コミュニティバスとの連携を図るため、一部ルートを変更し、図面左上の大口町内に新たに「替地」バス停を追加しております。

続きまして少し飛びますが7ページをご覧ください。路線番号7桃花台線であります。

春日井市との連携としまして図面中央下、春日井市内に新たに「上田楽」バス停を追加しております。

続きまして12ページをご覧ください。H2三ツ渚北線であります。

大口町コミュニティバスとの連携を図るため、図面左上の大口町内に新たに「東海理化前」バス停を追加しております。

続きまして13ページをご覧ください。H3村中線であります。

こちらにつきましても、大口町コミュニティバスとの連携を図るため、図面左上の大口町内に新たに「藤ノ木橋」バス停を追加しております。

最後に16ページをご覧ください。H6多気線であります。

豊山町、北名古屋市の連携としまして、一部ルートを変更し、図面中央下の豊山町、北名古屋市との市町境に新たに「青山高添」バス停を追加しております。

前回会議からの主な変更点については、以上となります。

再編資料1にお戻りください。続きまして、実施予定日です。今回の再編の中で結節点と位置付けております小牧市民病院に、公共交通専用のロータリーが整備されることから、その供用開始予定日であります12月1日を再編での運行開始日としております。

続きまして、運行事業者につきましては、本年1月から3月にかけて選定プロポーザルを実施した結果、現在の運行事業者でありますあおい交通株式会社に決定いたしましたので、再編後におきましても、引き続きあおい交通株式会社に運行をしていただくこととなります。契約期間は運行開始日から5年間です。

続きまして、運行日につきましては、引き続き年末年始の4日間を除く毎日です。

続きまして、運行時間です。再編資料3-1をご覧ください。

運行頻度につきましては、1時間に1本程度を基本とし、特に人口集中地区を運行する幹線系路線については、1日10便を確保するように設定いたしました。

運行時間帯につきましては、路線によりますが、概ね午前6時30分から午後8時としております。

次に、アクセス利便性の確保についてであります。主なものとしましては、住民からの要望が多くありました、市民病院へのアクセスにつきまして、すべての路線において、最大1回の乗継で、午前9時30分までに到着できるように設定いたしました。

また、支線系路線であります路線番号A1からA3の味岡駅系統、T1からT4の桃花台系統は、午前各各地区から中心部への移動を重視し、支線系路線から幹線系路線への乗継を考慮いたしました。

午後は反対に中心部から各地区への移動を重視し、幹線系路線から支線系路線への乗継を考慮し設定いたしました。その他にも、公共施設でのイベント開催時間などについても考慮をしております。

す。

次に、所要時間ではありますが、1路線を1台で運行する車両以外にも、複数路線を1台で運行する車両もございますが、起点を出発し、再度起点に戻るまでの往復の所要時間を、1台あたり1時間程度として設定しております。

次に、平日と土日祝日ダイヤについてであります。今回の再編では、平日用ダイヤと土日祝日用ダイヤをそれぞれ設定いたしました。

具体的には、朝夕の時間帯につきましては、通勤ラッシュに伴う所要時間の違いにより、平日と土日祝日は異なるよう設定しました。その他の日中の時間帯につきましては、利用者のわかりやすさに配慮し、出来る限り同一ダイヤとなるよう設定しました。

また、現行の支線系路線において、利用の少ない始発便、又は最終便の便数を平日と比べ土日祝日は最大1便減らしております。

なお、ダイヤの設定につきましては、運転手の休憩時間等にも配慮し設定しております。詳細な運行ダイヤにつきましては、平日は再編資料3-2、土日祝日は再編資料3-3となっておりますので、それぞれご確認ください。

再編資料1にお戻りください。続きまして、運行車両であります。運行車両につきましては、現行の車両から変更がございます。

再編資料4をご覧ください。

現行の車両は、35人乗り日野ポンチョが11台、ワンボックス車両として、8人乗りトヨタハイエースが4台、10人乗り日産キャラバン3台の計18台で運行しております。

比較的狭隘な道路も通行できるよう、過去にワンボックス車両を導入いたしましたが、定員オーバーで乗車が出来ない、いわゆる積み残しの発生への対応や、車両の保安基準の改正により、現在使用しているワンボックス車両が新たに製造できなくなったことなどから、今回の再編では、ワンボックス車両を廃止し、日野ポンチョの28人乗りのショートタイプを導入します。

裏面をご覧ください。

上の3種類が現行車両、下が再編後の車両です。

運行する路線を併せて記載しておりますが、新たに導入するショートタイプのポンチョにつきましては、支線系路線に導入いたします。

再編資料1にお戻りください。続きまして、利用料金につきましては、現行と変更はなく、大人1日200円、小学生100円、65歳以上の高齢者、幼児は無料であります。

続きまして、停留所につきましては、新設は23カ所、43基、廃止は17カ所、47基であります。

また、位置変更については13カ所、14基、名称変更は7カ所、11基となっております。

なお、廃止停留所につきましては、事前に停留所のお知らせを掲載し、利用者への周知を図ります。

再編資料5-1をご覧ください。1枚目が新設リスト、裏面が位置変更、及び名称変更のリスト、次ページが廃止のリストとなっております。

廃止停留所につきましては、過去の利用実態調査の結果も記載しておりますが、いずれのバス停においても、500m未満の位置に代替停留所がございます。

再編資料5-2をご覧ください。

新設及び位置変更により新たに設置する停留所について、図面及び写真にてお示しした資料でご

ございます。

箇所によっては植栽の移設、歩車道境界ブロックの撤去、ポストコーンの設置などを実施し、利便性や安全性の確保などに努めてまいります。バス停の設置位置につきましては、道路管理者、公安委員会、地先地権者とはいずれも協議済みでありますので、個別の説明につきましては割愛させていただきます。

続きまして、再編資料5-3をご覧ください。

小牧市民病院の停留所についてであります。

図面中央であります。新病棟東側に東ロータリーが完成したことに伴い、本年4月1日より一部ルートを変更し、図面上では赤矢印で表示したルートで東ロータリーへ乗り入れているところがございますが、本年12月1日には、公共交通専用の南ロータリーが完成予定でありますので、バス停位置をそちらへ移設し、黄矢印で表示したルートに変更いたします。

次ページをご覧ください。南ロータリーの拡大図であります。

ロータリーへ乗入れる交通機関としましては、こまき巡回バス、とよやまタウンバス、名鉄バス、タクシーであります。

南ロータリーにつきましては、一般車両の進入を避けるため、立て看板の設置や路面標示により案内するほか、誘導員を配置する予定であります。

なお、前回の会議でご意見のありました、市民病院1階へのデジタルサイネージの設置につきましては、市民病院東側ロータリーの供用開始に合わせて、こまき巡回バスのデジタルサイネージを設置したところであります。12月1日の市民病院南側ロータリーの供用開始に合わせて、名鉄バス及びとよやまタウンバスにつきましても、設置に向け調整を進めているところであります。

続いて、再編資料6をご覧ください。路線変更、バス停位置に係る事前調整状況をまとめた資料であります。地元住民への説明や意見徴収、公安委員会、道路管理者との各種調整状況をまとめております。

最後に、再編資料7をご覧ください。こちらは、平成30年3月に策定いたしました小牧市地域公共交通網形成計画との関係性をまとめた資料となっております。

紙面左側にこの計画におけるこまき巡回バスの考え方や実施する事業を抜粋しており、右側には今回の再編においてどのように対応したかを記載しております。

再編資料1にお戻りいただき、裏面をご覧ください。

再編前後の数値を比較した表、また、その下には運行開始までの簡単なスケジュールを記載しております。

周知の時期につきましては、11月上旬を予定しており、路線図時刻表の配布や、市広報、市ホームページで新たな路線・ダイヤの周知を図ってまいりたいと考えております。

また、再編参考資料として1~3もお示ししてございますので、そちらについても併せて説明させていただきます。

再編参考資料1をご覧ください。こちらの1枚目は昨年度第一回会議におきましてお示した資料となっております。2枚目はこれまでお示してきました再編方針に対し、今回の再編でどのように対応したかを、記載した資料となっております。

続きまして、再編参考資料2をご覧ください。こちらは、現行ルートと再編ルートを4地区に分けし、比較した資料となっております。再編ルート側には、新設及び廃止バス停などを表示しております。

続きまして、再編参考資料3をご覧ください。こちらは、現行ルートと再編ルートの北里地区の比較図面のそれぞれに、間内岩倉線を追記したものであります。

鉄道駅へ接続するこまき巡回バスとの重複区間を、今回の再編においては減らしており、国庫補助路線であります間内岩倉線と、少しでも差別化を図ろうとしたものをお示した図面であります。

以上で、議題「(2) 令和2年12月こまき巡回バス再編におけるルート・ダイヤについて」の説明とさせていただきます。

よろしくご審議賜りますようお願いいたします。

【磯部会長】

ありがとうございます。ただいま、12月からスタートする新しい運行についてご説明いただきました。お話にもありましたように、時間をかけていろんな方に話を聞いて、どう直したらよいかを考えて新しい運行を考えたとのことでした。この件につきまして、確認の意味でも良いので、何かご意見がありましたらお受けいたします。

12月までは会議を開催しないとのことですので、この先12月の運行開始に向けてどのような準備がさらにいるのかといった観点でも、思いつくことがあればご発言いただければと思いますがいかがでしょうか。

【鈴木委員】

運輸支局の鈴木です。今年度から委員に就任したものですから、確認の意味も含め、いくつか質問させていただきます。

いくつか隣の自治体に乗り入れるところがありますが、調整されているのはよくわかりましたが、例えば大口町内と言いますと、東海理化とか藤ノ木橋の周囲をグーグルマップでみると、周囲にあまり何も無いような場所のようなので、大口町に乗り入れるにしても、なぜここだったのか、理由を教えていただきたい。

その場所に用事があるというよりは、大口町のバスに乗り継いでの利用という意味合いだと思うが、待合環境としてはこれでいいのかということもありますし、そもそも大口町のバスに乗ってどこへ行きたいのか、はたしてこの場所での乗り継ぎがいいのかという疑問がある。

また、国土交通省が進めている話として、一昨年8月末ごろに横浜で、停留所に止まって小学生の女の子がバスを降車した。停留所の近辺に横断歩道があり、その女の子が横断歩道を渡ろうとしたときに、対向車にはねられるといった痛ましい事故が発生した。

それが、バスの停車している位置が悪かったというご指摘もあり、国土交通省のほうで、昨年から全国に似たような危険なバス停が無いか、どういった対策が講じられるのかといった調査をしているところであります。

そういった中で、今回新設のバス停については写真で見る限りご配慮いただいていると思うが、既設のバス停についても、調査したうえで、もし対策が必要であったということであれば、またこの会議で周知していただければと思います。

最後に1点、利用者への周知についてですが、他の自治体でもよくありますが、再編資料2-2でご説明いただいたとおり、1便あたりの所要時間として、起点から終点までの時間をよく書かれるが、利用者の方にとっては、起点から終点まで利用する方はほぼいないので、そうではなく、例えば地区ごとで市民病院には何分で行けますとか、今まで何分だったものが何分になりますといっ

たご案内などしていただけると混乱も少ないのではと思いますので、ご配慮いただければと思います。以上です。

【磯部会長】

ありがとうございます。3点いただきました。1点目が隣接市町にバス停を設置した場合、その後のネットワーク的な展開があるのか、またあるのであればそれが分かると、そこにバス停を設置した意義が出てくるといったご意見。2点目は、今回新設のバス停だけでなく、全般の話で、既存も含めてさらに検討してはどうかといったご意見。3点目は、情報提供のコツがあるのでは、といった話で、今回特に市民病院の話も多いので、うまく情報提供できればといったご意見でございました。

事務局からありましたらお願いします。

【事務局】（清水係長）

貴重なご意見ありがとうございます。

まず、1点目の大口町のバス停設置につきましては、一部利用者の方から、名鉄犬山線方面へ行きたいとお声があり、また、大口町からも小牧市方面へ行きたいとお声を受けて、設置に向け調整してきたものであります。

設置の場所については、周辺の企業様からも利用したいとお声もあり、そういった声も参考にし大口町と協議を進め、この場所に設置することとしたものであります。

3点目の、周知方法につきましては、11月上旬には周知をしたいと思っておりますが、先ほどのご意見も参考とさせていただきながら、より利用者の方が利用したいと思えるような周知の方法を検討し、実施していきたいと考えております。

【事務局】（川島課長）

2点目の横浜の事故につきましては、小牧市にも通知があり、こまき巡回バスの既存バス停につきまして、危険箇所がないか緊急に点検を行ったところであります。400基以上のバス停が設置されておりますが、すべての箇所点検し、危険箇所は無いことを確認しております。また、今回新たに設置するバス停についても、危険箇所とならないよう検討しております。

【磯部会長】

ありがとうございます。他いかがでしょうか。

【吉岡委員】

名鉄バスの吉岡です。バス停の設置についてでございますが、H5の大山など、写真を見ると名鉄バスと併設するかたちの記載がありますが、営業所と調整などしていただいているか。

【事務局】（清水係長）

吉岡委員には事前に路線図にてご説明させていただいておりますが、名鉄バス様の営業所への具体的なご説明につきましては、今後させていただく予定であります。

【吉岡委員】

ダイヤがバッティングした場合など、一般車への交通に支障をきたす場合もございますので、そのあたりはしっかりと調整していただきたいと思います。

【磯部会長】

ありがとうございます。他いかがでしょうか。

【小柳委員】

いろいろ積み上げてきた結果で、いろいろ配慮がなされていると思う。

ダイヤについて一点確認であります。私も桃花台に住んでおりますが、朝や夕方は通勤ラッシュで、非常に時間がかかることもあれば、昼間など全くかからないこともあります。そのあたりについて、ダイヤに反映されているのかお聞きしたい。

【磯部会長】

時間帯や、道路の状況によって、うまく走れる時と走れない時があるが、そのあたりは十分考慮して新しいダイヤを考えているのかとのご意見でしたが、事務局いかがでしょうか。

【事務局】（清水係長）

ラッシュの時間帯については、朝夕の状況を把握してダイヤを組んでおります。現在、バスロケーションシステムを導入しており、どの程度遅延が発生しているかデータでの把握に努めているほか、運行していただいているあおい交通様とも、遅延の情報も共有しながら設定しております。

ダイヤについては、実際運行開始しないと分からない部分もあるかとは思いますが、逐次状況の把握をして、改善に努めてまいりたいと考えております。

【小柳委員】

私も十分配慮されているとは思っておりますが、利用者に対しても、朝夕のダイヤは通勤ラッシュに配慮されていることが分かるとういなどという思いでお話させていただきました。

【磯部会長】

ありがとうございます。

住民への周知に関してですが、時刻表データを提供することで、検索可能なシステムもありますので、そういったものは早めに情報を提供しておかないと、例えば少し先で12月10日に出かけたときに、反映されていないと正しい情報が拾えないということもあります。なので、何をいつまでにやらなければいけないかといったスケジュールをしっかりとたてて進めていただきたいと思います。他いかがでしょうか。

【山本委員】

小牧警察署の交通課長の山本です。私からは要望に近いですが、バスが止まれば、後続車は追い越す状況であれば追い越しますが、追い越せない場合は後ろに車両が滞留することになります。例えば、名鉄バスと併設されているバス停など、歩道幅員がたくさんあるようなところは、歩道を少

し削ってバスの待機スペースを確保しているところも数多くありますので、可能な限り歩道幅員を確保しながら、バス待機スペースを確保していただき、円滑な地域の交通として使っていただけるよう配慮していただければと思います。

【磯部会長】

ありがとうございました。道路交通に配慮したバス停の設置についてのご意見でありましたが、事務局いかがでしょうか。

【事務局】（川島課長）

ただいまご意見いただきましたとおり、一般交通につきましては、当然配慮すべきものと考えております。バス停車帯の設置につきましては、道路条件等を確認する必要がありますが、道路管理者、小牧警察署に相談させていただきながら、バス停車帯の設置が可能かどうか、一定の基準もございますので、検討したうえでご相談させていただきたいと考えております。

【磯部会長】

ありがとうございました。他よろしいでしょうか。

【橋場委員】

説明では400基以上のバス停があると伺いましたが、そのバス停の中で上屋があるバス停は何か所あるのか。植栽のところなど何とか1mぐらい確保して上屋を作ることが必要だと思うが、そういった今後の計画についてはどうなっているのか。

それと、いくつか既設のバス停を確認したが、バス停に掲示されている路線図が複雑でなかなかわかりにくいので、それについて、どういった表示がよいか検討していただいたほうがよい。

それと、病院へ通う方がたくさんお見えになると思いますが、車いすの方があまり乗られないかどうか知りませんが、年寄りにはバス停が500mということだが、そこまで歩くのも大変だと思いますので、手押し車の方を乗車させるような車内の設備ができていますか。

それと新しいバス路線を設定しているが、バス路線を設定した後にバス停を考えるのは非常に難しいだろう。バス停の設置については地域住民の同意が必要だが、あらかじめ聞いてあるか伺いたい。

ラッシュの時間帯になると、バスによってもものすごい渋滞になる。野口の郷へ行っているが、その先の温水プールのバス停をみると、道路が少し広いということもありバス停車帯があるのでまだいいが、それもないところはどこか渋滞がすごいです。

桃花台に住んでいるが、桃花台から春日井駅まで車で出掛けるとき、ラッシュの時間帯は3倍ぐらい時間がかかります。ですから、バス停の停車帯についても、車社会ですので、一般車を妨げることが無いように検討していただきたい。

【小柳委員】

今まで積み上げてきた経過、データなどがある。上屋の設置の問題については、様々検討し、道路状況や利用状況によって、出来ているところと出来ていないところがある。上屋の設置については、いろいろな道路の条件などもあり簡単ではない。

【橋場委員】

資料のバス停設置予定の写真をみると、バス停が立ててあるだけである。道路条件などもあるので、一車線しかないようなところはしょうがないと言えましょうがないと思うが、それでもなんとか工夫をして、検討していただきたいということです。

【小柳委員】

もちろん検討してきているし、これまでの運行の経過、データをみながら、市民のさまざまな声を聞いて今まで積み上げてここまでやってきた。ダイヤの問題もそう。例えば積み残しの問題が発生しても、そのためにはじゃあどうするかとって、積み上げてやってきた。

【橋場委員】

話は理解しておりますが、新設路線については、市として地域の方に住民懇談会でご意見を聞くことなどやっているのか。

【事務局】（川島課長）

ご意見いただきましたバス停への上屋の設置につきましては、市としても必要なことだと考えております。上屋につきましては、現在、小牧駅、味岡駅、小牧口駅などの駅前ロータリーの乗り継ぎポイントとなる交通結節点に設置しておりますが、今後、乗り継ぎポイントのほか、利用の多いバス停から優先的に整備を検討してまいりたいと考えております。ただし、小柳委員からのご意見にもありましており、各道路には条件もあり、道路占用許可等の基準もございますので、道路管理者と協議しながら設置に向けて検討してまいりたいと考えております。

【事務局】（清水係長）

時刻表や路線図をわかりやすくといったご意見もありましたが、今回再編にあわせ新たに作成する予定でありますので、出来るだけ利用者の方にわかりやすいものとなるように検討してまいりたいと考えております。

また、車いすの方がバスに乗れるかというご質問につきましては、新たに導入するバスにつきましても、車いす対応の車両となっております。

また、手押し車での乗車の件につきましては、事務局として、調査、研究してまいりたいと考えております。

市民の方のご意見を聞かれたかといったご質問につきましては、再編資料6にまとめておりますが、市民、利用者を対象としたアンケートを実施し、各地域での懇談会も開催しております。また、パブリックコメントも実施し、出来るだけ利用者や地域住民のご意見を反映させようということで、ここまで検討してまいりました。

【橋場委員】

確かに検討した経緯は理解しましたが、どこでもそうだが、バス停の位置の設置になると、住民はかなり嫌うものだと思います。

これだけ市内に多くのバス停があって、この中で、上屋も設置していないバス停がほとんどです

よね。雨の日も雪の日もありますので、利用者の立場にたって検討していただきたい。難しいだろうけども検討していただきたい。バス停設置する箇所の住民の理解も当然もらわないといけないと思いますけれども、これだけあって全く上屋が設置してないのは不思議ではない。

【磯部会長】

ご意見としてお受けいたしますが、幹線バスは大きい道路を通り、多くの人を早く運ぶものですが、それだけでは小牧市内の交通としては不十分で、皆さんの家の近くにバス停を置きたいという要望が出てきます。

その要望に応じているのがコミュニティバスですが、家の近くにバス停を置こうとすると、道路条件は悪くなります。

道路は交通量が多くなれば広くなりますが、少ないと狭くなります。歩道もつきません。

だから皆さんの家に道が届きます。だから、そういう道は本来であればバスは通っちゃいけない道だと思います。でも皆さんが必要だから設置しています。

そういう状況であり、すべて完璧な状況でコミュニティバスが動いているとは私は思っていません。

いろいろ良い所もあるし悪いところもあります。だから、皆さんで考えてやっていただきたいと思います。そうすると、どういう利用をしていけばいいかという話になってきます。

ですから皆さん自身が、バスを愛していただきたいと思います。皆さんのバスです。そういった意識を持っていただきたいと思います。

といいながら、利用されないバス停は切ります。そういう状況もあります。

バス停はそのぐらいできます。鉄道駅ではなかなか出来ませんが、バス停はある瞬間無くすことが出来ます。判断しながらやっています。

そういう中で設備を作るかつくらないかを判断していきます。

ですから、がちがちの設備ばかりを作るのは間違っていると思います。

むしろシェルターなどでいえば、今回の市民病院でも敷地内です。皆さんのうちの中にバス停を入れてください。そのぐらいやっている市町はあります。みんなで作っていきましょうということなんです。みんなでコミュニティバスを愛していただきたい。そういう中でいろいろとアイデアを出しましょう。お金ばかりをかけてもしょうがないので、アイデアを出してより良いものにしていけるのがコミュニティバスのいい所だと思います。そういう意味でいろいろとやっていきたいなと思います。

イベントをやるとか、周知についてはいろんな方法もあります。

大きく変わりますので、しっかり周知して、うまくいけばマスコミなども使ってピーアールをしていただければいいと思います。

【磯部会長】

その他に無いようですので、議決に移りたいと思います。

議題(2)「令和2年12月こまき巡回バス再編におけるルート・ダイヤについて」は、皆さんの承認をいただきたいと思いますが、ご異議ありませんか。

《異議なしの声》

【磯部会長】

ありがとうございます。異議なしとのことですので、議題(2)「令和2年12月こまき巡回バス再編におけるルート・ダイヤについて」は、承認されました。

続きまして、次第の「3 報告」に入ります。

報告ということで、本日議決を得るものではございませんが、それぞれの説明の後、ご質問、ご意見がありましたらお伺いしたいと思います。

時間の都合上、報告(1)から(3)については、一括して事務局より説明いただければと思います。

報告(1)「こまき巡回バス利用状況について」、(2)「こまき巡回バス愛称募集について」、(3)「こまき巡回バス料金の一部無料化について」について、事務局より一括して説明を求めます。

【事務局】(清水係長)

それでは、報告「(1)こまき巡回バス利用状況について」、ご説明申し上げます。

お手元の報告資料1「こまき巡回バスコース別利用状況」をお願いいたします。

1枚目に令和元年度分、2枚目は平成30年度分であります。

令和元年度の利用状況につきましては、平成30年度と比較して順調に伸びておりましたが、新型コロナウイルス感染症の拡大により、3月は7割程度まで減少したため、年間の利用者数につきましては、若干減少する結果となりました。

本資料には記載しておりませんが、今年度の利用状況につきましても前年度の6割程度となっており、先行きは不透明ではございますが、運行事業者であるあおい交通と協議しながら、運転手の体温測定、手指消毒やマスクの着用の徹底、車内の換気など、可能な限り感染症予防対策を実施するとともに、状況を注視してまいりたいと考えております。

以上で報告「(1)こまき巡回バス利用状況について」の説明とさせていただきます。

つづきまして、報告「(2)こまき巡回バス愛称募集について」、ご説明申し上げます。

報告資料2をお願いいたします。

こまき巡回バスにつきましては、平成10年より運行を開始し、身近な市民の足として定着してまいりましたが、今回の再編にあわせ、さらに多くの市民の方々に親しみと愛着を持ってもらうとともに、その愛称を用いてバスのPRを行い、利用者の増加につなげるため、愛称を募集いたしました。

募集期間は6月15日から7月14日までの1か月間、応募資格は市内在住、在勤、在学に限り、一人3点までの募集といたしましたが、応募者数946人、応募点数は1490点もの応募があり、幅広い年代の方から大変多くの応募があり、深く感謝しているところであります。

愛称については、愛称審査委員会において選定していただき、決定した愛称の公表につきましては、今週金曜日の8月28日に記者発表を行い、併せてホームページにも掲載する予定であります。また、9月15日号の市の広報においても周知を行ってまいります。

採用した愛称はバス車体のラッピングに使用するほか、バス停や時刻表等に表示し、利用促進に繋げてまいりたいと考えております。

以上で報告「(2)こまき巡回バス愛称募集について」の説明とさせていただきます。

つづきまして、報告「(3)こまき巡回バス料金の一部無料化について」、ご説明申し上げます。
報告資料3をお願いいたします。

1の概要であります。今回の再編について、周知及び利用促進を図るため、こまき巡回バスの料金の一部無料化の実施を検討しております。

また12月以降、市の公共施設として小牧駅西側のラピオビル内にこども子育て施設であるこまきこども未来館がオープンし、さらにその東隣には中央図書館のオープンが予定されております。そこで、それぞれの施設の来館の促進と併せ、こまき巡回バスの利用促進にも繋げるため、こちらについてもこまき巡回バスの料金無料化の実施を検討しているところであります。

続きまして、2の実施内容であります。内容につきましても、あくまで検討しているところではありますが、新ルートの運行開始記念、こまきこども未来館オープン記念、中央図書館のオープン記念のそれぞれで、目的や内容、期間が異なりますので、表で整理させていただきました。

以上で、報告「(3)こまき巡回バス料金の一部無料化について」の説明とさせていただきます。
よろしくをお願いいたします。

【磯部会長】

ありがとうございました。3点ありましたが、これらについてご意見はいかがでしょうか。

【鈴木委員】

運輸支局の鈴木です。2点ございます。1点目は利用状況についてですが、3月は前年の7割まで減少したとのことですが、直近はどんな状況でしょうか。最近では学校などが再開し利用が多少回復している他市の例もみられるが、小牧市の状況をお聞きしたい。あわせて、対策の周知はどのように行っているか。バスがどんな対策をしているかだけでなく、利用される方も手指の消毒やマスクの着用などご協力お願いしますといった、利用者側の注意事項も併せてしていただくと効果的かと思えます。

もう1点は、報告3の料金の一部無料化についてであります。内容をみますと、運行開始記念、オープン記念は、運転手に券などを提示して料金が無料となるためいいと思えますが、図書館に関しては申し出た方は無料にしますということなので、運転手さんにひと手間がかかるなと思えます。

小牧市の料金は一日200円なので、どこで乗り継ごうが、最初に券をただでもらえるという話にもなってしまうので、運転手さんが誰を無料で乗せたかをしっかり計上していただかないと、報告事項でいいのかどうかという話にも繋がってしまうので、運転手さんがどのようにカウントして、その人の運賃に対して、市がどのように補填をするのか確認したい。

また、要望というかご提案だが、中央図書館は3月下旬にオープンする一方で、こども未来館の期間は3月31日までということになっていますが、子供が使うのであれば、春休みの期間がどうなるかわかりませんが、図書館の無料の期間は土日祝日に限らず、春休み期間中ぐらいいまで延ばしてあげたらどうかというのは個人的な思いとしてあります。

先ほど申し上げた通り、申し出た方というのは微妙すぎて、大人から子供まで言えば無料となる、言えばいいとなると、運転手への負担がかかってしまうと思えますし、もともと券を買った人との区別がしにくいのではないかと思います。

【事務局】(清水係長)

まず、バスの利用状況でございますが、月別で前年比を申し上げますと、4月は54%、5月は55%、6月は74%、7月は75%という状況でございます。

また、中央図書館のオープン記念の無料化については、あくまで内容については検討中ということではありますが、口頭での確認はどうか、運転手さんへの負担があるのではないかとのご指摘がありました。すべてこの期間を無料としてしまうと、際限がなくなってしまうのではということもあり、確かに運転手さんへの負担については、内部でも議論いたしました。少なくとも一声、図書館に行きますと言っただけならば、そこを基準に無料とするということと考えております。

運行事業者のあおい交通様とも協議をしているところでありますが、利用者数については、声かけの時点で運転手さんが把握するような形で検討しておりますが、まだ検討の段階でありますので、今のご指摘を踏まえしっかりとしたものにしてまいりたいと考えております。

【磯部会長】

そのあたりいただいた部分は精査して、もしこの会議で承認を得る必要があれば、また実施していただければと思います。まだ少し先ですので。

内容については、一声かけたというときに、運転手さんのほうから図書館に行きますかと聞くのか、黙っているのか、もし黙っているなら後になって、先に言ってくればよかったのにといった声も出るかもしれない。また、他の乗客からの目もありますので、そのあたりの運用上の整理が必要になってくると思います。

他よろしいでしょうか。

続いて、報告(4)「名鉄バス桃山線について」であります。

この件については、愛知県都市整備局交通対策課さんのほうから説明をお願いいたします。

【小嶋委員（澤木委員代理）】

愛知県交通対策課の小嶋と申します。この度名鉄バスさんから桃山線の廃止の申し出がございました。路線バスの廃止に関しましては、愛知県バス対策協議会のほうで、対応、協議することとなっております。その県のバス対策協議会というのは、国、県、市町村、バス事業者などから構成されています。この桃山線に関しましては、今後沿線市とともに協議をいたしまして、来年の6月にバス対策協議会の幹事会がございしますが、そのころまでには方針を決定していくこととなっております。

具体的な路線の内容につきましては、名鉄バスさんのほうからお願いいたします。

【吉岡委員】

名鉄バスの吉岡と申します。報告資料4につきまして、改めてご説明させていただきます。

日頃は、公共交通へのご理解及びご支援、またご利用を賜り、御礼申し上げます。

そのような中、誠に恐縮ではございますが、愛知県バス対策協議会に対して、「桃山線」の廃止申出をいたしましたので、内容についてご説明申し上げます。

この度、令和2年6月17日に愛知県バス対策協議会へ春日井市、小牧市を広域的に運行する「桃山線」を令和3年10月1日をもって廃止したいと申出をいたしました。

この路線は、春日井市内の春日井駅から小牧市内の大草を結ぶ系統で、系統キロは、往路 10.5

キロ、復路 10.2 キロでございます。関係市のキロ割合は、春日井市 7 キロ、小牧市 3.5 キロであります。

運行回数は、平日 13 便、土休日 11 便で、運行時間帯は、5 時台から 21 時台でございます。

今回の廃止に影響する区間につきましては、春日井市、小牧市をまたぐ 4.1 キロにあたります。

廃止停留所は、春日井市内の桃山町、春日井自衛隊前の 2 停留所。小牧市内の川向、道場山住宅前、東洞口、大草農協前、西洞、大草の 6 停留所を合せた 8 停留所となります。

停留所の位置関係につきましては、A3 資料の最後に添付されております路線図に記載のとおりであり、赤枠で囲ったバス停が廃止となります。

川向停留所は、下末まで約 650 メートル、桃山町停留所は、桃山町 3 丁目まで約 400 メートル、春日井自衛隊前停留所は、桃山町 3 丁目まで約 580 メートル、道場山住宅前停留所は、大池住宅前まで約 820 メートル、東洞口停留所は、中島まで約 550 メートル、大草農協前停留所は、中島まで約 360 メートル、西洞停留所は、大草まで約 450 メートル、大草停留所は、他系統の大草まで約 200 メートルの位置関係です。

昭和 44 年 9 月に運行開始いたしまして、平成 16 年 10 月から国県補助対象路線となりました。

非常に伸び悩む中、平成 21 年 10 月には、減便し経費削減を行い路線維持に努めてまいりました。

しかしながら、昨今の利用状況は、平成 30 年度はおよそ 6 万人、一日当たり 160 人、令和元年度におきましては、年間 5 万 5 千人、一日当たり 150 人と減少傾向にあります。

令和元年度 5 月に実施いたしました乗降調査による停留所の利用者数は、一日の利用者数は川向 4 人、桃山町 5 人、春日井自衛隊前 3 人、道場山住宅前 0 人、東洞口 0 人、大草農協前 1 人、西洞口 0 人、大草 0 人でありました。

令和元年度の収支状況につきましても、経費 1,993 万円、収益 1,035 万円、赤字額としては 960 万円でありました。国県補助金は、92 万円であります。

以上のように、桃山線は、収支状況が改善されず、今後も利用者、収入の増加は見込めない状況でございます。平成 21 年 10 月に改善策として、利用実績に合わせてダイヤを削減し、合理化による路線の効率化及び収支改善を図りましたが、輸送人員数は、依然として減少傾向に歯止めがかからず、平均乗車密度につきましても、3.7 人と低迷し、路線バスとしての使命を終えたと言わざるをえない状況でございます。

現在のコロナ禍の中、業務量の制約をせざるをえない状況でございますが、事業の存続のためには、収益性を向上させていくことが必然となっております。また、もともと深刻な乗務員不足の課題がございます。高速バスなど他業務の回復状況によっては、ふたたび深刻な状況になることが予想されます。

生活の足としてバスが重要な責務をおびていることは、重々承知しておりますけれども、何卒ご理解賜りますよう、お願い申し上げます。

愛知県バス対策協議会への申し出に先立ちまして、関係自治体様への事前説明を行いました。今後も引き続き関係市様と調整を図ってまいります。

説明につきましては、以上でございます。

【磯部会長】

ありがとうございます。この件につきましてなにかありましたらお願いいたします。

無い様ですので、私から 1 点お聞きしますが、今後どんな手続き、流れで進めていくのか。

【小嶋委員（澤木委員代理）】

バス対策協議会の構成員であります、特に沿線市と対応を協議いたしまして、廃止やむなしとするのか、一部代替手段を確保するのか、そのあたりについて、来年の6月ごろまでには方針を決定していくことになります。

【磯部会長】

わかりました。もしこの件に対する対応があれば、事務局あたりが提案していただいて、この場でまた報告なりしていただければと思います。

続いて、報告(5)「春日井市実証実験について」であります。

この件については、本日、春日井市都市政策課松浦課長補佐がお見えになっているとのことですので、そちらから説明をお願いいたします。

【事務局】（春日井市松浦課長補佐）

春日井市都市政策課で課長補佐をしております松浦と申します。よろしくお願いたします。

資料の春日井市地域公共交通網形成計画中間案をご覧ください。

既に小牧市さんにおかれましては、平成30年3月に小牧市地域公共交通網形成計画を本会議でつくられたということですが、中身を拝見しますと、隣接市町コミュニティバスとの連携した運行といった項目もございまして、本日議題としてこまき巡回バスの路線再編の話題が出ましたけれども、春日井市の上田楽にもバス停を設置していただけることになったことにつきましては、協議会の皆さま、事務局、小牧市議会、春日井市議会のほうにも格段のご尽力があったと承知をしております。この場をお借りして厚く御礼を申し上げます。

春日井市地域公共交通網形成計画の内容を協議する春日井市地域公共交通会議にも、こちらにご出席の方にも何人かご参画いただいておりますけれども、この計画は本日から1か月間、パブリックコメントを実施しているところでございます。裏面をご覧くださいますと、下段に5、隣接市との連携とございまして、私共も、小牧市さんをはじめ、隣接した市町のみなさんとなにかと連携が出来るるとよいと考えているところでございます。

隣接のエリアの皆さんの意見を聞きますと、春日井市から市を跨いで小牧市の病院、または商業施設をご利用になっているという方々が、春日井市にも多々いるということは把握しております。

そこで定時定路線型の移動サービス、はあとふるライナーミニということでございますけれども、こちらにつきましては、春日井市の中でも、小牧市との隣接地域である牛山町の皆さんが、地域で交通の懇談会を組みまして、牛山地区を運行するコミュニティバスを再編すべく、地域の取り組みをしているところでございますが、その取り組みの一環として、地図にあるようなルートを、ただいまワゴン車で小さい路線バスを走らせているところでございます。

こちらにつきましては、図面にもありますように、小牧市にロータリーがあります間内駅に乗り入れをしております、特にご利用については、春日井市民、小牧市民の区別なくご利用いただけますので、間内駅から春日井市内の施設をご利用いただくことができます。あるいは、この度こちらにご承認をいただきました上田楽のバス停がございまして、今回の実験でも上田楽にバス停を設置しまして、ゆくゆくは小牧市さんとの連携がはかれるとよいということで、ただいま実験

をしているところであります。

さらには、一枚めくっていただき、令和2年度春日井市牛山地区実証実験案予約型バスとありますけれども、さきほどご案内のとおり、ただいましております実験は定時定路線、すなわちバス停や時刻表が決まっている、こまき巡回バスと同じタイプであります。こちらにあります10月から予約型バスは、利用者が電話によって時間や利用する停留所を予約し、システムによって行先へ配車をする乗合型のタクシーに近いタイプの、呼び出しのバスというものを新たに実験したいと考えているものであります。

一枚めくっていただくと図面がございます。はあとふるライナーミニの予約型バスの運行エリアであります。発着ポイントにつきましては、今後、地域の皆様と検討会で協議をしながら作っていくところがございますが、そういったものをこのエリアにちりばめまして、この運行エリアを便利にできるような仕組みを探っているところがございます。こちらにも名鉄の間内駅ロータリーをぜひ利用させていただきまして、便利な乗り物となるよう考えているところがございますので、皆さんの格段のご理解、ご協力を賜りたいということでございます。

よろしく願いいたします。

【磯部会長】

ありがとうございます。春日井市からの報告でございました。ただいまの件について、なにかありましたらお願いいたします。

牛山地区というところは、小牧市側からみると、少しくぼんだ部分であり、小牧駅を中心として大きな円を描くと入ってしまうような地域で、小牧市と仲良くしたいという地域であります。

どこの病院に行きたいかということを知ると、もちろん春日井市民病院という声もあるが、小牧市民病院という声も結構多い。そんな地域であります。そのあたりも理解しながら実験しています。

まだ、試行中でありまして、将来どちらのパターンで行くかということを検討していくということです。

【事務局】（清水係長）

それでは、事務局より1点、ご連絡させていただきます。

会議日程についてでございます。

今年度の会議につきましては、現在のところ予定しておりませんが、協議、報告事項等の案件がありましたら開催いたします。その際は改めてご連絡させていただきますので、よろしく願いいたします。

【磯部会長】

12月に新しくなりますので、先ほど申し上げましたけれども、どうやってみなさんにわかっていただくかということが重要だと思っておりますので、イベントもやりにくい状況かもしれませんが、検討していくのは大事だと思っておりますので、イベントの開催やマスコミなど、皆さんのいろいろなお知恵を使って、周知していただければと思います。

それでは、これをもちまして令和2年度第1回小牧市地域公共交通会議を閉会します。皆様、ありがとうございます。